

## 蔵書点検内容

	作業内容
第1日目から3日目まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検範囲対象である本棚の完全な書架整理を行う (開架の本を全てと閉架の児童書、郷土資料を対象)</li> <li>開架から閉架へ移動する本の選定と移動 (入力変更、閉架スタンプ押印)</li> <li>除籍資料の選定と移動 (入力変更、除籍スタンプ押印)</li> </ul>
第4日目から7日目まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ処理を行う(裏面のとおり)</li> <li>蔵書点検専用ペン型スキャナーを使用する (今回の決裁にて賃貸借契約を行う)</li> </ul>
第8日目から10日目まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ点検結果によるエラーデータ資料の修正</li> <li>除籍本のリサイクル市準備</li> <li>開館準備 (統計出力、新刊選書など)</li> </ul>

## (点検対象推移と予定)

年度	点検対象	点検総冊数(冊) (うち貸出中の資料を含む)
H20年度	開架資料全て	93,793
H21年度	開架資料全てと閉架資料 の一般書	148,268
H22年度	開架資料全てと閉架資料 の児童書と郷土資料	118,144
H23年度	開架資料全てと閉架資料 の一般書	164,594 (H23. 11月末現在)
H24年度	開架資料全てと閉架資料 の児童書と郷土資料	約130,000

※H21年度からシステムのバージョンアップにより閉架書庫の点検を分割して行うことが可能となった。